

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【公開番号】特開 2019-164088 (P2019-164088A)
【公開日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)
【年通号数】公開・登録公報 2019-039
【出願番号】特願 2018-53046 (P2018-53046)
【国際特許分類】

G 0 1 T 7/00 (2006.01)

G 0 1 N 23/04 (2018.01)

【F I】

G 0 1 T 7/00 A

G 0 1 N 23/04

【手続補正書】
【提出日】令和 3 年 3 月 17 日 (2021.3.17)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

物品を搬送する搬送部と、
前記搬送部によって搬送される物品に X 線を照射する X 線照射部と、
前記物品を透過した前記 X 線を検出する X 線検出部と、
内部に前記 X 線による前記物品の検査が実施される検査領域が設けられた筐体と、
前記 X 線検出部の少なくとも一部に対して空気を導風する導風部と、
前記 X 線検出部により検出される前記 X 線から X 線透過画像を生成し、前記 X 線透過画像に基づいて前記物品の検査を行う制御部と、を備える、X 線検査装置。

【請求項 2】

前記 X 線検出部は、複数のエネルギー帯の前記 X 線を検出するセンサである、請求項 1 記載の X 線検査装置。

【請求項 3】

前記 X 線検出部は、前記 X 線検出部を制御する制御基板と共に、ユニットとして一体的に形成されており、

前記導風部は、前記ユニットの少なくとも一部に対して空気を導風する、請求項 1 又は 2 記載の X 線検査装置。

【請求項 4】

前記導風部は、
前記空気の流路である通風路と、
前記通風路に空気を給気するファン、及び前記通風路から空気を排気するファンの少なくとも一方と、を有する、請求項 1 ～ 3 の何れか一項記載の X 線検査装置。

【請求項 5】

前記通風路と前記ファンとは、シール部材を介して接続されている、請求項 4 記載の X 線検査装置。

【請求項 6】

前記通風路に冷気を供給する冷風機を更に備え、
前記通風路は、分岐部を有し、

前記冷風機によって供給された冷たい空気は、前記分岐部を介して前記 X 線検出部と前記 X 線照射部とに導風される、請求項 4 又は 5 記載の X 線検査装置。

【請求項 7】

前記通風路から空気が排気される一端は、前記冷風機において空気を給気する給気口に向かって開口している、請求項 6 記載の X 線検査装置。